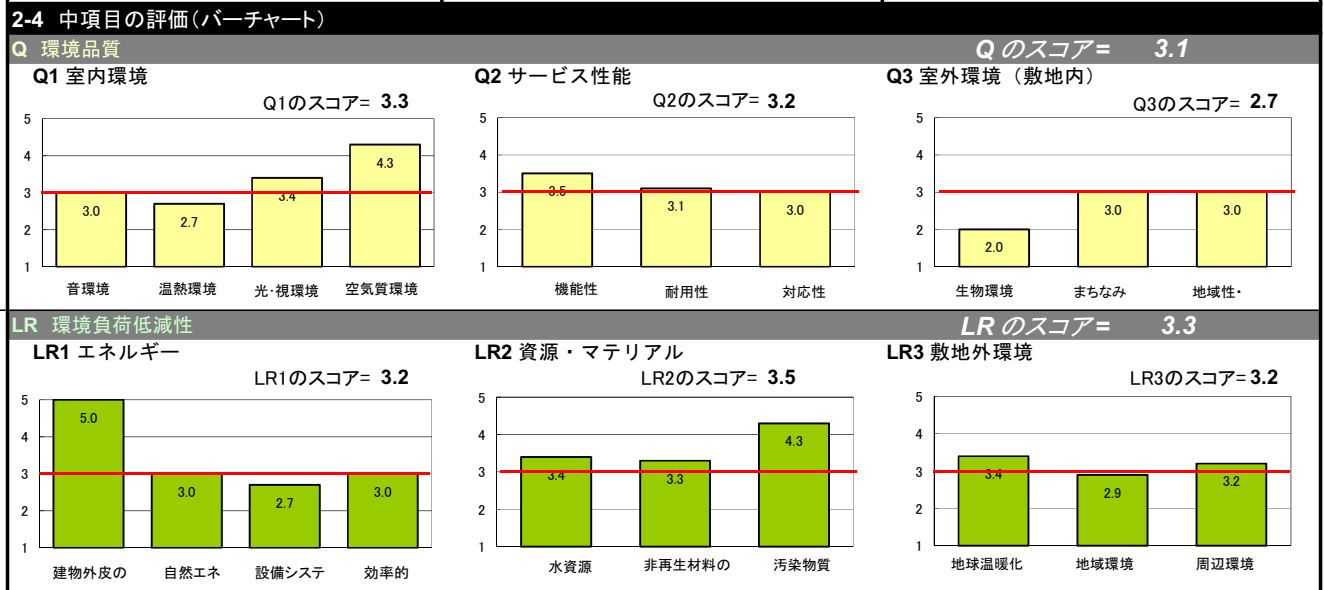
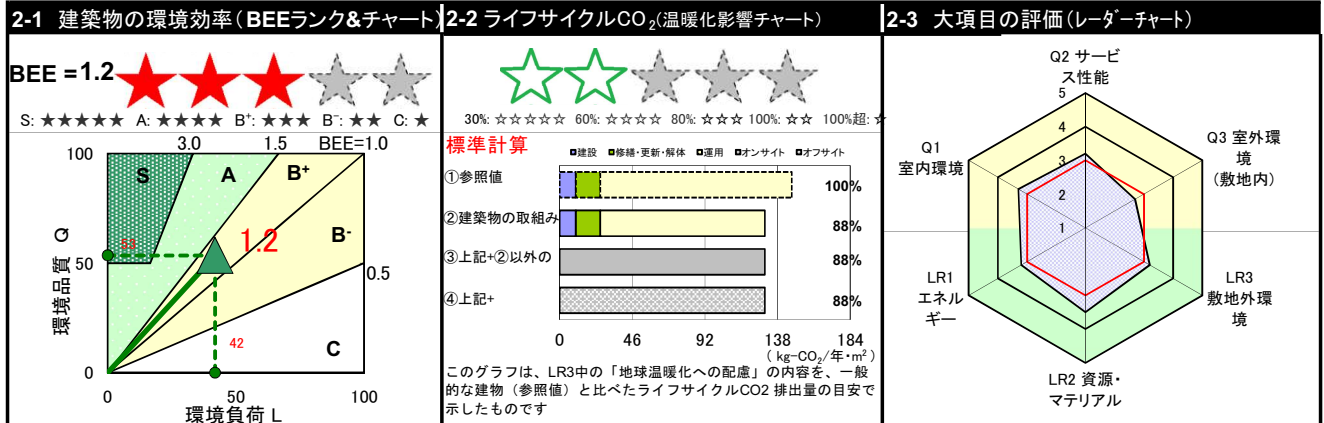


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	障がい者支援施設 大井川寮	階数	地上2F
建設地	静岡県焼津市下江留字中840-1、840-2	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、土地利用許可	平均居住人員	90 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2022年6月6日
敷地面積	4,100 m ²	作成者	清水誠一
建築面積	1,705 m ²	確認日	2022年6月6日
延床面積	3,012 m ²	確認者	清水誠一



3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡2016年版による評価結果である。 建築物の環境品質については、ゆとりが有り維持管理のしやすい空間とすることで環境品質が向上するよう努めている。		その他 0
Q1 室内環境 光庭を設け居室の自然採光に配慮した。	Q2 サービス性能 内装、設備配管は維持管理がしやすく更新間隔が長い材を使用。 換気について、換気が十分とれるよう配慮した。 非常用電源設備を設置した。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地の緑が連続するような外構植栽計画を行った。
LR1 エネルギー 自然通風、光庭による自然エネルギーの利用。 LED照明の採用。高効率空調機の導入。	LR2 資源・マテリアル 節水型機器を採用 内装はリサイクル材を採用するよう配慮した。 有害物質を含まない材料を選択するよう配慮した。 R32冷媒である機種を選択するよう配慮した。	LR3 敷地外環境 気象データを用いて風環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される